

短期塾生報告

11月19日～21日、10月始めに実施した「休耕田の花畑作りプロジェクト」に引き続き、小阪区青年会（美里会）と色川百姓養成塾のコラボレーションが実現しました。今回も、NPO法人JUON NETWORK（樹恩ネットワーク）から若者5名が短期塾生として活動に参加しました。



今回は、美里会が所有する椎茸のホダギに、深刻化する獣害対策用の囲いを設置する作業をさせていただきました。また最終日の21日には、「棚田を守ろう会」（<http://www.zb.ztv.ne.jp/tanada/>）のしめ縄作り体験イベントに参加し、農作業、地元の方々との交流、お正月用のしめ縄作りと、忙しいながらも各塾生が充実した日程を過ごしました。

離れていても色川を思う気持ちは同じ！？
美里会メンバーと色川をサポートしていきたいと強く語る塾生たち

以下、今回短期塾生として参加した大澤祐実さんと榎本純子さんの体験報告です。

「色川の風景」 大澤祐実さん

海沿いの駅に降り立ったはずなのに、くねくねくねくねと山道を登ること1時間。着いた日は夜で分からなかったが、翌朝の風景に息を呑んだ。だんだんと続く棚田の向こうに荘厳な山並みが重なり、その先には太平洋が広がっている景色なんて生まれて初めて見たからである。そのときに、ああ色川という名前にぴったりな村だな、どんな人たちがどんなことを感じながらこの風景を毎日見て生きているのだろう、とふと思った。

今回の色川で心に残ったのは、本当に美しく胸をすくような圧倒的な風景と、作業中に心を込めて色川の歴史や、里山の情景を伝えようとしてくれる愛のある人々だった。

風景については、本当にずっとずっと眺めていたいと思えるすがすがしい美しさだった。色川にIターンの人が途切れなくやってくるのが不思議だったが、もしかしたらこの風景の魅力にひきつけられる人も多いのかもしれない。しかし、山奥の村という印象からは想像ができない風景が広がっているからこそ、現在の集落間の暗さが惜しいな、とも思った。車で走っていると、集落を抜けた途端に鬱蒼と茂るスギが迫る。そしてまた、ぱっと開ける。そのコントラストもいいといえはいいが、昔はもっと棚田が広がっていて明るい開けた村だったという話を聞き、少しずつ棚田の再生、明るい村づくりが進んでいくといいなと思う。色川の人にとっても安全になるだろうし、風景としての色川の魅力もどんどん増すだろう。



NPO 法人で「日本で最も美しい村」という連合があり、そこには徳島の上勝町や岐阜の白川村が参加している。そこに色川も入ることができるほどの魅力があるのではないかとと思う。是非、連合に加入し色川の魅力が日本国内のみならず海外へも直接伝えてほしい。

そして、美里会青年部のみなさんとの作業、とっても楽しかった。久しぶりに体をめいっぱい動かし、体には心地よい疲労感があるのだが心

はずっきりとしていた。そして何よりも、おじさん(お兄さん?)達がぼそり、ぼそりと教えてくれる昔話や知恵が何もかも新鮮で、里山暮らしの知恵の凄さを感じた。とにかく話していて、一緒に作業していて、とっても楽しかった。そしてそのときに、一年間百姓塾生として小阪地区に滞在している合谷さんという女性とも一緒に作業したのだが、彼女が青年会の人たちに受け入れられている様子が伝わってきたのが印象的だった。彼女の存在は、小阪にとっても良い刺激になっており、地元への誇りにも繋がっているのではないだろうか。そこに生まれ育った人には当たり前知恵を、外からきた若者に受け継いでいくことで、新しい風を吹き込みつつ色川らしい伝統を色あせずに伝え続けていくことが可能になるのだろう。

今回はたった2泊3日の短い滞在であったが、色川の奥深さを感じる機会となった。今でも目の裏に浮かんでくる風景の美しさを求めて、またきつと訪れたいと思う。そして、色川の人々が今どんな暮らしをしていて、どんな祭りをしていて、どんな新しい試みをするのか、それを遠くからでもサポートしていきたい。そこで「色川サポート村民」制度を提案したい！一度色川を訪れた人が、メーリングリストなどで色川情報を定期的に見ることができたら、イベントや人出のいる手伝いなどに気軽に何度も参加するリピーターが増えるのではないだろうか。私も是非、サポート村民になりたい！

3日間、本当に楽しかったです。どうもありがとうございました。

「力を合わせてしめ縄作り」 榎本純子さん

土曜日の朝からで、私は皆よりちょっと遅れての参加でしたが、ほんとに皆さん、素直なあったかい方ばかりで途中参加の私のお弁当まで用意して下さいたのには、ほんとに感激でした！

日頃は運動不足、農作業はまったく初めての中、どこまでお役に立てるかなという感じでした。



三人がかりでしめ縄をしめる

しいたけの菌を植えた木を並べた場所にハウスのように木の枠組みを作り、猿や鹿などが入らないように網を被せて行くという作業でした。本当は手慣れた方ばかりですの方が、もっと効率よく作業が進んだのかもしれませんが、小阪の青年会の方々はほんとに温かく見守って下さって、安心して作業することが出来ました。

日曜日のしめ縄作りにも参加させて頂いて、須田さんが帰った後も、時間ギリギリまでしめ縄作りをしていました。最初に出来上がったしめ縄は2本目作りに

夢中になっている間に、どこかに片付けられてしまい、行方不明です(笑)。2本目は最初の物より形良く仕上がったので、これで実家のお正月を迎えたいと思っています。



使用する藁は、事前によく叩いておく

日曜日はおいしい昼食としめ縄作りと遊んでばかりでしたが、もう少し役に立ちたいなあと思ったので、翌日の棚田の草刈りにも参加させて頂きました。草刈り機を担いでの作業はキツク、昼過ぎには、腕の力が限界でした…。棚田での作業は大きな機械が入らず何から何まで本当に大変だろうと思います。ちょっとでも役に立つなら継続して参加していきたいと思いました。

ぜひ、また今回参加された皆さんにも色川で再会出来たらと思います。

ありがとうございました！